

私たちの「仲間たち」

292

憎いが綺麗

子どもの頃、ノイバラはにつつき植物でした。魚釣りや篠鉄砲作りなどで、何度痛い目にあったのか数え切れません。落ち葉かきや草刈りでも、手足にかき傷を作らされたものでした。何しろ全身にかぎ針のよな棘があり、枝が縦横無尽にはい回るので実にやっかいです。見かけた時には、かたき討ちのつもりで切り倒すのですが、返り討ちに会うことがよくあり、悔しい思いがつのったものでした。

ノイバラはその年に伸びたツルには花をつけず、翌年以降にツルから出た枝の先に花を咲かせます。そのため、ある程度大きくなった株でないとまとまった花を付けません。子どものころは、草刈りが頻繁でノイバラが成長して花をつけているのを見ることがあまりなかったような記憶があります。最近では河川敷や草薙などで大きな株になって、白い花を沢山つけ、良い香りを放っているものに出会うことがよくあり、園芸種のバラの原種の一つだというのもうなずけません。

花の写真を撮るようになってから、子どものころとノイバラを見る目が変わったようで、満開になったノイバラを見ると吸い寄せられるように近寄ってしまいます。

果実（写真下）は秋に赤く熟し、つやのあるきれいな実なので、生け花などに用いられます。民間薬としても使われるようですが、毒性もあるそうなのでむやみに利用するのは避けた方がよいでしょう。

（写真・文／中澤利雄）



鳩山の動植物
ノイバラ（バラ科）

人口と世帯

4月1日現在、（ ）は対前月比

人口	14,643人	(- 53)
男	7,238人	(- 22)
女	7,405人	(- 31)
世帯	5,833世帯	(+ 1)
3月の出生数	1人	

5月の納税・納付

固定資産税	(第1期)
軽自動車税	(全期)
国民健康保険税	(随期)
後期高齢者医療保険料	(随期)
介護保険料	(随期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編集室

▼本号の取材中、町民の方が話していた「けがをしたり、年を取ってから、それを支える制度のありがたみが分かりました」という言葉が印象に残っています。

別の立場や状況にならないと実感できないのが普通ですが、私の周りには、想像力が豊かで、自分以外や未来の視点で物事を考えられる「頭のいい」方が多くいます。どうしたら自分も「頭のいい」人になれるのか、反省の日々ばかりです。

広報写真で振り返る町の歴史 ⑤

さいたまに鳩山ニュータウン
景観賞



平成元年1月20日
さいたま景観賞表彰式
鳩山ニュータウンの町並みが、快適性と利便性が調和され、道路の植栽も美しいことで「さいたま景観賞」を受賞した様子が伝えられています。【平成元年2月（No.198）号より】